

LACSオンライン講習会 ～テスト編～

ICT基盤センター 古賀 掲維

Ver. 1.10

LACSオンライン講習会～テスト編～

1

この講座は、長崎大学の教育支援システムである「LACS」の「テスト」機能について、教職員向けに説明した講座です。

アジェンダ

1. [テストについて](#)
2. [テストの作成](#)
3. [テストの採点](#)
4. [テストの管理](#)
5. [問い合わせ先](#)

この講座で説明している内容は、テストについて、テストの作成、テストの採点、テストの管理、問い合わせ先についてです。

LACSへのサインイン方法などの、基礎的な内容については、別途開講している「入門編」をご参照ください。

それでは、始めましょう。

1. テストについて

- オンラインテストを実施するための機能
- 期限日、問題の提示方法、答案回数、制限時間、結果表示等を設定できる
- 質問タイプは9種類
- 一部の質問タイプでは自動採点が利用できる
- アンケート(記名式、匿名式)を実施する場合は、フォームを利用する

LACSの「テスト」は、「オンラインテスト」を実施するための機能です。テストには、期限日、問題の提示方法、答案回数、制限時間、結果表示などを設定できます。

テストで利用できる質問タイプは、9種類となっています。

また、一部の質問タイプでは、自動採点が利用できます。

なお、アンケートを実施したい場合は、「フォーム」が利用できます。

1. テストについて

利用できる質問タイプ

- ① 計算式問題
- ② 数値問題
- ③ 作文問題
- ④ 穴埋め問題
- ⑤ ホットスポット問題
- ⑥ 組み合わせ問題
- ⑦ 多肢選択問題
- ⑧ 正誤問題
- ⑨ 文章完成問題

これは、LACSの「テスト」で利用できる、質問タイプの一覧です。
質問タイプの並びは、LACSでテストを作成する際に、表示される並びとなっています。

それでは、それぞれの質問タイプについて、少し詳しく見ていきます。

1. テストについて

① 計算式問題

- 計算を行わせ数値で解答させる問題
- 問題で変化させたい部分を変数として入力する
- 学生が問題を表示したとき、変数は教員が指定した数値の範囲からランダムに生成された値に置き換わる
- 正解は、特定の値または値の範囲で指定できる
- 自動採点が可能

⇒ [ヘルプを参照](#)

計算式問題は、計算を行わせ、数値で解答させる問題です。

問題文では、変化させたい部分を変数として入力します。
学生が問題を表示したとき、変数は、教員が指定した数値の範囲から、ランダムに生成された値に置き換わります。

正解は、特定の値または、値の範囲で指定することができます。

計算式問題は、自動採点となっています。

計算式問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

② 数値問題

- 数値で解答させる問題
 - 正解は、正確な数値を指定したり許容範囲を指定したりできる
 - 自動採点が可能
- ⇒ [ヘルプを参照](#)

数値問題は、数値で解答させる問題です。

正解は、正確な数値を指定したり、許容範囲を指定したりできます。

数値問題は、自動採点となっています。

数値問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

③ 作文問題

- 文章で解答させる問題
- 学生は解答をテキストボックスに入力
- 手動採点が必要

⇒ [ヘルプを参照](#)

作文問題は、文章で解答させる問題です。

学生は、解答をテキストボックスに入力して解答します。

作文問題は、手動採点が必要です。

作文問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

④ 穴埋め問題

- 文章の空白欄へ入力させる問題
 - 解答の評価は、学生の解答が正解に一致するかどうかに基づいて行われる
 - 正解の評価方法は以下から選択できる
 - 完全一致
 - 部分一致
 - パターン一致 (正規表現)
 - 自動採点が可能
- ⇒ [ヘルプを参照](#)

穴埋め問題は、文章の空白欄へ入力させる問題です。
空白欄は複数用意することもできます。

解答の評価は、学生の解答が正解に一致するかどうかに基づいて行われます。
正解の評価方法は、完全一致、部分一致、パターン一致から選択できます。

穴埋め問題は、自動採点となっています。

穴埋め問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

⑤ ホットスポット問題

- 画像内に作成されたホットスポットを指定させる問題
 - 学生は画像にピンをドロップすることでホットスポットを指定
 - 以下のパターンを選択できる
 - 標準ホットスポット
 - 多肢選択ホットスポット
 - 複数回答ホットスポット
 - 自動採点が可能
- ⇒ [ヘルプを参照](#)

ホットスポット問題は、画像内に作成されたホットスポットを指定させる問題です。

学生は画像にピンをドロップすることでホットスポットを指定します。

ホットスポット問題では、標準ホットスポット、多肢選択ホットスポット、複数回答ホットスポットを選択できます。

ホットスポット問題は、自動採点となっています。

ホットスポット問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

⑥ 組み合わせ問題

- 二つの列(プロンプト、解答)を組み合わせで解答させる問題
- 解答を再利用したり、不正解の解答を追加して、二つの列の項目数を一致しないようにできる
- 選択肢をランダム表示させることもできる
- 自動採点が可能

⇒ [ヘルプを参照](#)

組み合わせ問題は、プロンプト列と解答列の項目を、組み合わせで解答させる問題です。

組み合わせ問題では、解答を再利用したり、不正解の解答を追加したりして、二つの列の項目数を一致しないようにできます。

また、選択肢をランダムに表示させることもできます。

組み合わせ問題は、自動採点となっています。

組み合わせ問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

⑦ 多肢選択問題

- 複数の選択肢の中から正解を1つ以上選択させる問題
- 選択肢をランダム表示させることもできる
- 自動採点が可能

⇒ [ヘルプを参照](#)

多肢選択問題は、複数の選択肢の中から正解を一つ以上選択させる問題です。

多肢選択問題では、選択肢をランダムに表示させることもできます。

多肢選択問題は、自動採点となっています。

多肢選択問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

⑧ 正誤問題

- 正または誤を選択させる問題
- 自動採点が可能

⇒ [ヘルプを参照](#)

正誤問題は、正または誤を選択させる問題です。

正誤問題は、自動採点となっています。

正誤問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

1. テストについて

⑨ 文章完成問題

- 文章の抜け落ちた部分をドロップダウンリストから選択し、文章を完成させる問題
- ドロップダウンリストには正解と不正解の両方の選択肢を含めることができる
- 自動採点が可能

⇒ [ヘルプを参照](#)

文章完成問題は、文章の抜け落ちた部分をドロップダウンリストから選択し、文章を完成させる問題です。

ドロップダウンリストには正解と不正解の両方の選択肢を含めることができます。

文章完成問題は、自動採点となっています。

文章完成問題の詳しい説明については、スライドのPDFファイルを開き、「ヘルプを参照」リンクをクリックしてください。

2. テストの作成

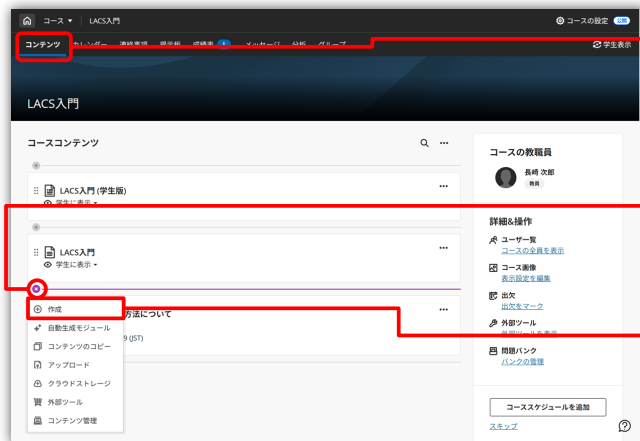
- テストの作成手順
- テストの提出手順
- 演習

それでは、テストの作成について説明します。

テストの作成手順、テストの提出手順、という順番で説明していきます。
最後に簡単な演習を用意しています。

2. テストの作成

テストの作成手順（1）



① ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択

② 「コンテンツの追加」(コンテンツが配置済みの場合は(+))ボタンをクリック

③ 「作成」を選択

はじめに、テストの作成手順を見ていきましょう。

まず、ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択し、コースコンテンツページを表示させます。

次に、「コンテンツの追加」ボタン、または、プラスボタンをクリックしてメニューを呼び出し、メニュー項目から「作成」を選択します。

2. テストの作成

テストの作成手順（2）



④「テスト」を選択

💡「テスト」を選択後、次の画面が表示されるまで少し時間がかかる場合があります

すると、右側に「項目を作成」パネルが表示されますので、「アセスメント」欄から「テスト」を選択します。

なお、テストを選択後、次の画面が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。

2. テストの作成

テストの作成手順（3）

The screenshot shows the LACS assessment creation interface. A red box highlights the title field 'LACSに関する小テスト' with an annotation '⑤ テストのタイトルを設定'. A red circle highlights the '+ 問題を作成' button with an annotation '⑥ [+] ボタンをクリック'. The interface includes a sidebar with 'コンテンツと設定', '提出物 (0)', '学生アクティビティ', and '問題の分析'. The main area has a header 'LACSに関する小テスト' and a sub-header '学生に非表示'. Below the header is a section 'アセスメントを作成' with a sub-header 'プラスアイコンをクリックして開始します'. The right sidebar is titled 'アセスメントの設定' and contains settings for '期日' (Date), '成績カテゴリ' (Grade Category), '採点' (Scoring), '許可された答案回数' (Allowed number of answers), and '独自性レポート' (Originality report).

新しいテストが開いたら、まずはテストのタイトルを設定します。

次に、「プラス」ボタンをクリックし、問題の作成を開始します。

2. テストの作成

テストの作成手順（４）



⑦ 追加する項目を選択

💡 多肢選択問題を選んでおきます

💡 質問タイプ以外に以下の項目を追加することができます

- テキスト
- ファイル
- ページ区切り

すると、メニューが表示されますので、追加する項目を選択します。

メニューでは、各質問タイプその他、テキストやファイル、ページ区切りなどを追加できます。

以降の説明では、多肢選択問題を例に説明しますので、メニューから「多肢選択問題を追加」を選択しておいてください。

2. テストの作成

テストの作成手順（5）

⑧ 問題文を入力

⑨ オプション(選択肢)を設定

正解の選択肢の設定

オプション(選択肢)の削除

オプション(選択肢)の並び替え

学生が選択できる件数を指定

オプション(選択肢)の追加

画面は、多肢選択問題の編集画面です。
多肢選択問題では、問題文と選択肢を設定します。
選択肢の数は増減させることができます。

多肢選択問題では、正解の選択肢を一つまたは複数選択する必要があります。

また、学生が選択できる選択肢の数を指定することもできます。

2. テストの作成

テストの作成手順（6）

テストコンテンツ

質問 1

問題文

LACS は次のどれを解したものでしょうか？

選択問題を設定します。正しい解答を一つまたは複数選択してください。

① 部分的な評価と全の評価を許可する

② オプションのフィードバック

オプション

☒ Learning Assessment and Communication System

☐ Learning and Communication System

☐ Learning Analysis and Communication System

オプションの追加

* 学生が選択できる件数を指定してください。この件数は選択可能な上題数として学生にも表示されます。

1 個

③ 自動フィードバック

④ 問題メタデータ

キャンセル 保存

アセスメントの設定

印刷

期間日

期日

2025/06/12 23:59:59

成績カテゴリ

なし

採点

点数：最高点

アセスメントの採点時に成績を自動で投稿します。成績投稿の設定を変更する。

☒ 許可された答案回数

1回の答案

☒ 適合性レポート

SafeAssign 5% 有効化

⑩ 満点の点数を確認

成績には影響のない問題とするとときに設定します。正解するとボーナス点を付与できます(満点は100%を超えます)

なお、満点の点数は右上の欄から設定することができます。

なお、満点の点数欄の右にある「特別評価」は、成績には影響のない問題とするとときに設定します。

「特別評価」に設定された問題に正解すると、ボーナス点を得ることが出来ます。

2. テストの作成

テストの作成手順（7）

質問 1

問題文

LACS は次のどれを輸したものでしょうか？

* 選択数を設定します。正しい解答を1つまたは複数選択してください。

☒ 部分的な評価と負の評価を許可する ☐ 負の全体得点を許可する

負のパーセンテージを使用して、不正解の点を減算できます。

☒ オプションのフィードバック

オプション	パーセンテージ	正誤
☒ Learning Assessment and Communication System	100 %	正
☐ Learning and Communication System	-100 %	誤
☐ Learning Analysis and Communication System	-100 %	誤

[オプションの追加](#)

* 学生が選択できる件数を指定してください。この件数は選択可能な上限数として学生にも表示されます。

1 個

☒ 自動フィードバック

☒ 問題メタデータ

キャンセル 保存

部分的な評価と負の評価を設定することもできます

多肢選択問題では、部分的な評価と負の評価を設定することもできます。

2. テストの作成

テストの作成手順（8）

The screenshot shows the 'Feedback' section of the LACS test creation interface. A red box highlights the '自動フィードバック' (Automatic Feedback) toggle, which is currently turned on. Below this, there are two input fields for specifying the timing of the feedback: '即時' (Immediate) and 'テスト終了後' (After Test Completion). The '即時' field is currently selected. To the right of the input fields, there is a '提出後に利用可能' (Available after submission) checkbox, which is also checked. The interface includes a list of options for the feedback system, with 'Learning Assessment and Communication System' selected. A note at the bottom states: '学生が選択できる作数を指定してください。この作数は選択可能な上回数として学生にも表示されます。' (Please specify the number of questions students can choose. This number will be displayed to students as the maximum number of questions they can choose.)

💡 自動フィードバックを設定することもできます

自動フィードバックを設定しておく、指定したタイミングで学生へフィードバックを表示することができます。

2. テストの作成

テストの作成手順（9）

質問 1

問題文

LACS は次のどれを輸したものでしょうか？

選択肢を設定します。正しい解答を1つまたは複数選択してください。

部分点の評価と良の評価を許可する

☒ オプションのフィードバック

提出後に利用可能

オプション

オプション	フィードバック
☒ Learning Assessment and Communication System	オプションのフィードバックを入力
☐ Learning and Communication System	オプションのフィードバックを入力
☐ Learning Analysis and Communication System	オプションのフィードバックを入力

オプションの追加

学生が選択できる件数を指定してください。この件数は選択可能な上限数として学生にも表示されます。

1 個

各選択肢にフィードバックを設定することもできます

さらに、各選択肢にオプションのフィードバックを設定することもできます。

2. テストの作成

テストの作成手順（10）

💡 問題にメタデータを設定することもできます

⑪ [保存] ボタンをクリック

また、問題にメタデータを設定することもできます。
メタデータを設定しておくで、問題を識別しやすくなります。

設定が終わったら、「保存」ボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの作成手順（11）



12 同様の手順で問題を追加

不要な場合はオフにしておく

問題の編集が終わったら、同様の手順で問題を追加します。

なお、問題の最後に、「学生がアセスメント終了後にコンテンツを追加できるようにする」というオプションがあります。

このオプションはデフォルトで「オフ」になっていますが、「オン」にすると学生がコンテンツを追加できるようになります。

学生にコンテンツを追加させたい場合は、「オン」にしてください。

2. テストの作成

テストの作成手順（12）



⑬ 設定ボタンをクリック

続いて、テストの設定を行います。

右上の、設定ボタンをクリックしてください。

2. テストの作成

テストの作成手順（13）

⑭「設定詳細&情報」欄を設定

💡 期限日のないテストとする場合にチェックします

💡 期限日時以降に答案を提出させたくない場合にチェックします

💡 期限日時までに答案を開始させたい場合にチェックします

テストの設定では、まず、「詳細&情報」欄で、「期限日」を設定します。

期限日の設定では、期限日の日時を設定し、オプションを設定します。

「期限日なし」をチェックすると、期限日のないテストとすることが出来ます。

「遅延の提出を禁止」をチェックすると、答案を進行中に期限日時が来た場合、答案が自動的に提出されます。

「期限日後の新しい答案の作成を禁止」をチェックすると、期限日時を過ぎたら、学生は新しい答案を開始できなくなります。ただし、期限日時前に開始した答案は、期限日時を過ぎても提出できる点に注意が必要です。

2. テストの作成

テストの作成手順（14）

The screenshot shows the LACS test creation interface. On the left, there's a sidebar with 'テストコンテンツ' (Test Content) and a list of questions. The main area shows a question titled 'LACSに関する小テスト'. A dialog box titled 'プレゼンテーションのオプション' (Presentation Options) is open, highlighting several settings: '一度に1つの問題を表示' (Display one question at a time), '前の質問への引き返しを禁止' (Prohibit returning to the previous question), '問題をランダムで表示' (Display questions randomly), '解答をランダムで表示' (Display answers randomly), and 'ページをランダムで表示' (Display pages randomly). Below these, there are sections for '形成的ツール' (Formative Tools) and '採点と提出' (Grading and Submission).

⑮「プレゼンテーションのオプション」欄を設定

問題や解答(選択肢)、ページの表示方法を設定します

次に、「プレゼンテーションのオプション」欄で、問題や解答、ページの表示方法を設定します。

この欄では、問題を一つずつ表示したり、さらに、前の問題への引き返しを禁止する設定を行えます。

また、問題や解答、ページをランダムに表示する設定も行えます。

2. テストの作成

テストの作成手順（15）

The screenshot shows the LACS test creation interface. A dialog box titled '形成的ツール' (Formative Tools) is open, with a red box highlighting the '形成的アセスメント' (Formative Assessment) checkbox. The checkbox is currently unchecked. Below the checkbox, there is a note: 'これは成績の計算から自動的に除外されません。形成的ラベルを学生に表示する' (This is not automatically excluded from grade calculation. Display formative labels to students). The dialog box also contains fields for '採点と提出' (Grading and Submission), '成績カテゴリ' (Grade Category), '許可された回答回数' (Number of Allowed Answers), '点数' (Points), '次による成績' (Grade by Next), '最高点' (Maximum Points), '匿名採点' (Anonymous Grading), '評価オプション' (Evaluation Options), and 'アセスメントの成績' (Assessment Grade).

⑩「形成的ツール」欄を設定

形成的アセスメント

- 学生の学習状況を把握するために行われるアセスメント(評価)
- 学生の学習状況を把握するとともに、指導方法を改善し、学生のパフォーマンスを強化するためのフィードバックを提供することが目的
- 具体的には、小テストや中間テストなどが該当

次に、テストを形成的アセスメントとする場合は、「形成的ツール」欄を設定します。

なお、形成的アセスメントとは、学生の学習状況を把握するために行われるアセスメントです。

形成的アセスメントの目的は、学生の学習状況を把握するとともに、指導方法を改善し、学生のパフォーマンスを強化するためのフィードバックを提供することです。

具体的には、小テストや中間テストなどが該当します。

2. テストの作成

テストの作成手順（16）

⑰「採点と提出」欄を設定

学生が答案を提出可能な回数を指定します。2以上に設定した場合は、どの答案を採点対象とするかも設定します

テストの成績を自動的に投稿したくない場合は、チェックを外します

次に、「採点と提出」欄を設定します。

この欄では、「許可された答案回数」などを設定します。

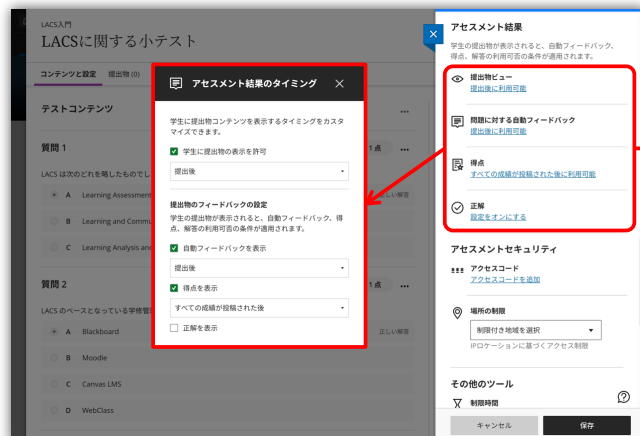
「許可された答案回数」を、「2」以上に設定した場合は、「採点対象の答案」も設定します。

なお、「匿名採点」や「評価オプション」は、採点プロセスが複雑になるため、特に必要がなければ設定しないことをお勧めします。

また、「アセスメントの成績を自動的に投稿する」オプションをオンにしておくと、自動採点式の問題のみからなるテストの成績はすぐに投稿されます。成績の開示を手動でコントロールしたい場合は、この設定をオフにしてください。

2. テストの作成

テストの作成手順（17）



⑮「アセスメント結果」欄を設定

クリックすると右の欄が表示され、以下の項目の表示のオンオフとタイミングを設定できます

- 学生に提出物の表示を許可
- 自動フィードバックを表示
- 得点を表示
- 正解を表示

次に、「アセスメント結果」欄を設定します。

この欄では、学生に提出物の表示を許可、自動フィードバックを表示、得点を表示、正解を表示の各設定について、表示のオンオフとタイミングを設定できます。

2. テストの作成

テストの作成手順（18）

Assessment Security

*** Access Code
[Access Code](#)

Location Restriction

Restrict by location

Other Tools

☒ Restrict Time
[Restrict Time](#)

Goals and Standards

[Set Goals](#)

Restrict by Group

なし

Self-assessment Report

[Self-assessment Report](#)

Description

説明を追加

キャンセル 保存

⑱「アセスメントセキュリティ」欄を設定

💡 現在指定できる場所の制限は、長崎大学内といくつかの講義室となっています

💡 場所の制限の追加希望があれば、LACSサポート窓口までご連絡ください

次に、「アセスメントセキュリティ」欄を設定します。
この欄では、アクセスコードを利用して、テストへのアクセスを制限したり、IPロケーションに基づくアクセス制限を行ったりできます。
なお、現在指定できる「場所の制限」は、「長崎大学内」といくつかの講義室となっています。

また、場所の制限の追加希望があれば、LACSサポート窓口までご連絡ください。

2. テストの作成

テストの作成手順（19）

The screenshot shows the LACS test creation interface. On the left, there's a sidebar with 'テストコンテンツ' (Test Content) and two questions listed. The main area shows the 'その他のツール' (Other Tools) panel, which includes options for '制限時間' (Time Limit), '割り当てられたグループ' (Assigned Groups), and '説明' (Description). The '制限時間' section has a dropdown menu set to 'なし' (None). The '割り当てられたグループ' section has a dropdown menu set to 'なし' (None). The '説明' section has a text area for adding a description. At the bottom of the panel are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

⑳ 「その他のツール」欄を設定

次に、「その他のツール」欄を設定します。

この欄では、テストに制限時間を設定したり、テストをグループに割り当てることもできます。

2. テストの作成

テストの作成手順（20）

⑪ 「説明」欄を設定

！ 説明欄では改行できますが、コースコンテンツページでは改行されないの
で注意してください

⑫ 「保存」ボタンをクリック

最後に、「説明」欄を設定します。

この欄では、テストがコースコンテンツページに表示される際の「説明」を設定することができます。

ただし、説明欄では改行ができますが、コースコンテンツページでは、改行されませんので注意してください。

設定が終わったら、「保存」ボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの作成手順（21）



㉓ コースコンテンツページに戻るには、左上の〔×〕ボタンをクリック

コースコンテンツページに戻るには、左上のボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの作成手順（22）



㉔ 表示設定メニューから「学生に表示」を選択

追加されたテストの表示設定は、「学生に非表示」となっていますので、学生が利用可能にするには、「表示設定メニュー」から「学生に表示」を選択してください。

2. テストの作成

テストの提出手順（1）



① ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択

② テストをクリック

続いて、学生がテストを提出する手順について説明します。

テストを提出するには、ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択して、「コースコンテンツページ」を表示させます。

次に、コースコンテンツページが表示されたら、提出したいテストをクリックします。

2. テストの作成

テストの提出手順（2）

The screenshot shows a web interface for a test titled "LACSに関する小テスト". The interface is divided into two main sections: "詳細" (Details) on the left and "成績 / 答案" (Results / Answers) on the right. The "詳細" section contains a sub-header "詳細" and a text area with the text "アセスメントの提出期限: 2026/06/30 23:59 (JST)". The "成績 / 答案" section contains a sub-header "成績 / 答案", a "最高点" (Maximum Score) of 3 points, and a "制限時間" (Time Limit) of 1 hour. A red box highlights the "答案を開始" (Start Answer) button in the "成績 / 答案" section. Two blue callout boxes with red lines pointing to the interface provide instructions: ③ 「詳細」欄を確認 (Check the 'Details' section) and ④ 「答案を開始」ボタンをクリック (Click the 'Start Answer' button).

③ 「詳細」欄を確認

④ 「答案を開始」ボタンをクリック

すると、テストページが開きますので、「詳細」欄を確認し、「答案を開始」ボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの提出手順（3）

The screenshot displays the LACS test submission interface. A red box highlights the question options, and a red arrow points from a callout box to the '確認' (Check) button.

⑤ 問題を確認し解答

問題 1 (1点)

LACS は次のどれを指したのでしょうか？

- ☒ A. Learning Assessment and Communication System
- ☐ B. Learning and Communication System
- ☐ C. Learning Analysis and Communication System

問題 2 (1点)

LACS のベースとなっている学習管理システムはどれでしょうか？

- ☐ A. Blackboard

詳細&情報

アセスメントの開催日: 2025/06/30 23:59 (JST)

答え: 残りの答えは1回

成績

最高点: 3点

最終保存: 12:16:03

問題フィルタ (3)

保存して閉じる 提出

テストの答案ページが表示されたら、各問題を確認し、解答します。

2. テストの作成

テストの提出手順（４）

3問中3問の問題が残っています

LACS のベースとなっている学習管理システムはどれでしょうか？

☒ A Blackboard 選択しました

☐ B Moodle

☐ C Canvas LMS

☐ D WebClass

[選択をクリア](#)

問題 3 (1点)

LACS の効果的な活用方法について、200文字程度で記述してください。

形式的テストとコンテンツのリリース条件を組み合わせることで、学生の理解度に応じた学習ルートを設定することができると考えます。

最終保存 12:18:12

問題フィルタ (3)

保存して閉じる 提出

⑥ [提出] ボタンをクリック

全ての問題に解答したら、「提出」ボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの提出手順（5）



すると、テストを提出するかどうか確認する、ダイアログが表示されますので、「提出」ボタンをクリックします。
残りの答案回数によっては、再提出ができなくなりますので、注意してください。

2. テストの作成

テストの提出手順（6）



テストの提出が完了すると、画面のようなダイアログが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。

2. テストの作成

テストの提出手順（7）

The screenshot shows a web interface for a LACS assessment. At the top, there's a header with a red 'X' icon and the text 'LACS入門' and 'LACSに関する小テスト'. Below this, there's a main content area with two columns. The left column is titled '詳細' (Details) and contains 'アセスメントの提出期限: 2026/06/30 23:59 (JST)' and 'アセスメント結果 ①' with a sub-note '提出物ビュー 今すぐ利用可能'. The right column is titled '成績 / 答案' (Results / Answers) and contains '提出物' (Submission) with a '添削' (Correction) button, and '作業: 残りの答案は0回' (Work: 0 remaining answers) with a '提出物を表示' (Show submission) button. A red box highlights the '提出物を表示' button. A red line connects this button to a callout box on the right.

⑨ [×] ボタンをクリック

💡 テストの問題形式や設定によって、結果表示は異なります。

最後にバツボタンをクリックして、テストパネルを閉じておきます。

なお、提出したテストの結果表示は、テストの問題形式や設定によって異なります。

2. テストの作成 演習

① 教員ユーザでコースコンテンツページにテストを作成してみましょう

- 手動採点式の問題(作文問題)を含めてください

② 学生ユーザでテストに答案を提出してみましょう

- 別なブラウザ、または、Google Chromeのシークレットウィンドウを開き、学生確認用ID(ss+職員番号)でサインインします

※ 以降の説明で答案を採点しますので、必ず答案を提出しておいてください。

それでは、以上の説明をもとに、テストの操作演習を行ってみてください。

まず、教員ユーザーで、コースコンテンツページに、「テスト」を作成してみましょう。

テストの問題には、手動採点式の作文問題を含めてください。

次に、学生ユーザーで、テストに答案を提出してみましょう。

なお、学生ユーザーで操作する場合は、別なブラウザか、シークレットウィンドウを使用してください。

以降の説明で、答案を採点しますので、必ず答案を提出しておいてください。

では、このビデオを一時停止して、演習が終わったら、ビデオを再開してください。

3. テストの採点

- テストの採点について
- 成績表について
- 提出物ページについて
- テストの採点手順
- 演習

続いて、テストの採点について説明します。

テストの採点について、成績表について、提出物ページについて、テストの採点手順、という順番で説明していきます。
最後に簡単な演習を用意しています。

3. テストの採点

テストの採点について

- テストで採点が必要となるのは、手動採点式の問題(作文問題)を含むテストの場合のみ
- 自動採点式の問題のみからなるテストは採点の必要はない

はじめに、テストの採点についてですが、テストで採点が必要となるのは、手動採点式の作文問題を含むテストの場合のみです。

自動採点式の問題のみからなるテストは、採点の必要はありません。

3. テストの採点

成績表について（1）



次に、LACSの「成績表」機能について説明します。

「成績表」を開くには、ナビゲーションバーから「成績表」を選択します。

「成績表」には、概要、採点可能項目、成績、学生の、4つのビューがあります。

続いて、各ビューについてみていきます。

3. テストの採点 成績表について (2)



💡 「概要」ビューには、完了すべき採点タスクが表示されます

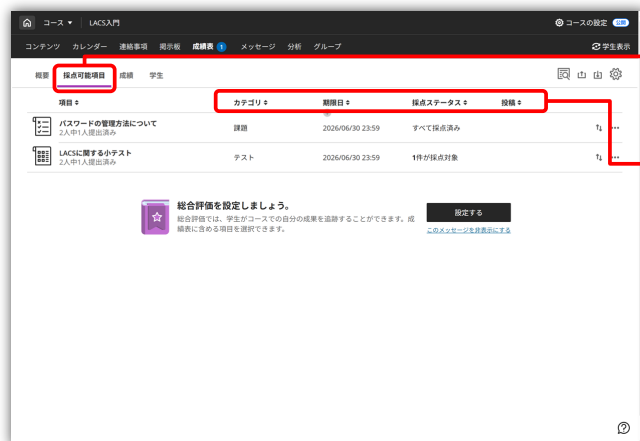
💡 採点可能タスクには、要調整、要採点、要投稿があります

「概要」ビューには、完了すべき採点タスクが表示されます。

採点タスクには、要調整、要採点、要投稿があります。

通常の採点作業は、この「概要」ビューの、「要採点」欄から行うとよいでしょう。

3. テストの採点 成績表について (3)



「採点可能項目」ビューには、コース内のすべての採点可能項目が表示されます

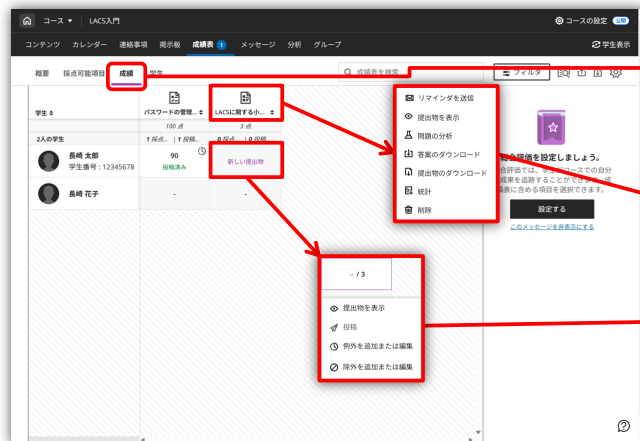
カテゴリ、期限日、採点ステータスなどを表示できます

「採点可能項目」ビューには、コース内のすべての採点可能項目が表示されます。

「採点可能項目」ビューでは、項目のカテゴリ、期限日、採点ステータスなどを確認できます。

また、成績を投稿したり、コースの総合評価計算を調整したりすることもできます。

3. テストの採点 成績表について（４）



「成績」ビューには、各テストに対する各学生の成績が、1行につき1名、1列につき1つの採点可能項目で表示されます

採点可能項目をクリックすると、メニューから答案のダウンロードなどの操作を行うことができます

グリッドで学生の採点可能な項目をクリックすると、メニューから答案の表示などの操作を行うことができます

「成績」ビューには、各テストに対する各学生の成績が、1行につき1名、1列につき1つの採点可能項目で表示されます

「成績」ビューの採点可能項目をクリックすると、メニューから問題の分析や統計、答案のダウンロードなどの操作を行うことができます

また、グリッドで学生の採点可能な項目をクリックすると、メニューから答案の表示などの操作を行うことができます。

3. テストの採点 成績表について (5)



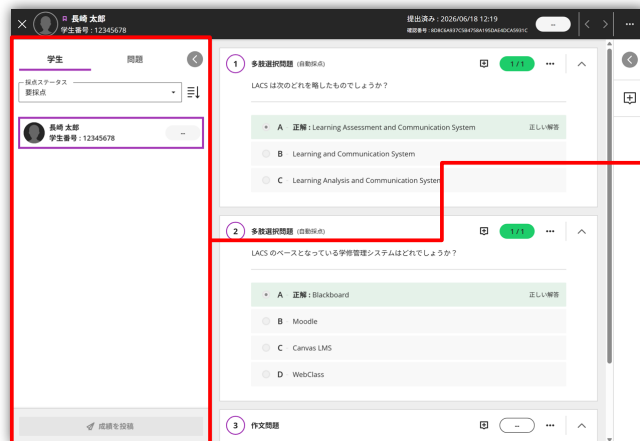
💡 「学生」ビューには、すべての学生の名前、学生番号、最終アクセスが一覧表示されます。コースの総合評価を設定している場合、総合評価も表示できます

💡 メニューから、学生にメッセージを送信したり、優遇措置を追加したりできます

「学生」ビューには、すべての学生の名前、学生番号、最終アクセスが一覧表示されます。
コースの総合評価を設定している場合、総合評価も表示できます。

また、「学生」ビューのメニューから、直接、学生にメッセージを送信したり、優遇措置を追加したりできます。

3. テストの採点 提出物ページについて（1）



採点時に開く「提出物」ページです

学生パネル

- 一覧から学生を選択すると、当該学生の答案が表示される
- 採点ステータス(要採点、すべての採点ステータス)でフィルタを設定できる
- 提出日、姓、名で学生を並び替えることができる

次に、「提出物」ページについて説明します。

成績表から採点を開始すると、「提出物」ページが開きます。

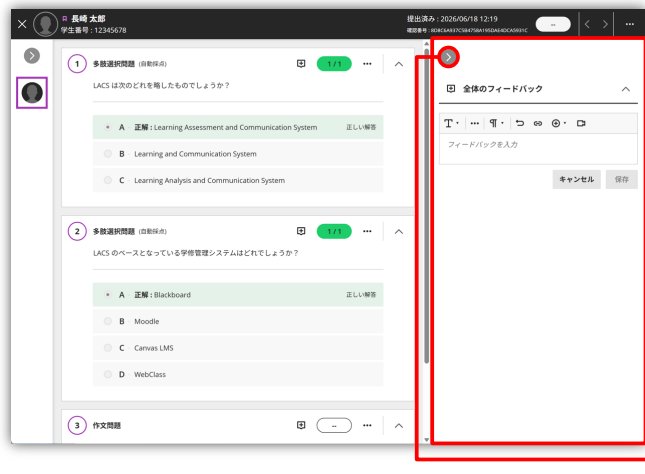
「提出物」ページの左側には、「学生」パネルがあります。

「学生」パネルでは、採点ステータスでフィルタを設定したり、氏名や答案の提出日で、学生を並び替えたりできます。

「学生」パネルで学生を選択すると、その学生の答案が表示されます。

また、採点済みの成績の投稿も、この「学生パネル」から行うことができます。

3. テストの採点 提出物ページについて（2）



The screenshot shows a web interface for submitting test answers. On the left, there are two multiple-choice questions. The first question is about LACS, and the second is about the LACS base system. The second question is selected, and its answer options are visible. On the right, a feedback panel is open, titled '全体のフィードバック' (Overall Feedback). It contains a text input field for providing feedback and buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). A red box highlights the feedback panel and the '保存' button. A red arrow points from the '保存' button to a callout box.

フィードバックパネル
・ 答案に対するフィードバックを入力できます

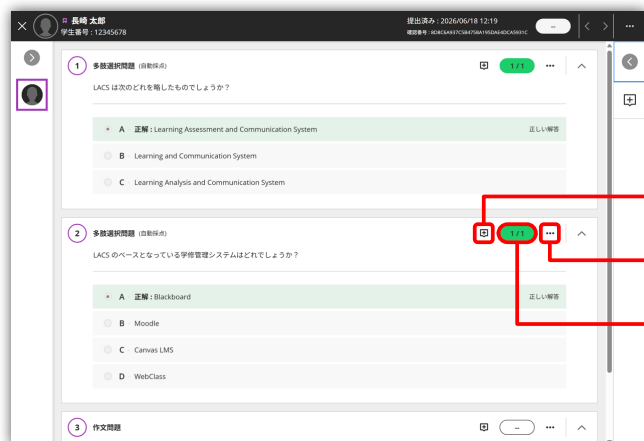
💡 ボタンからパネルを開閉できます

「提出物」ページの右側には、「フィードバック」パネルがあります。

「フィードバック」パネルでは、答案に対するフィードバックを入力できます。

なお、「フィードバック」パネルが閉じている場合は、矢印ボタンで開くことができます。

3. テストの採点 提出物ページについて（3）



採点パネル

- 各問題の採点状況を確認したり、採点を行ったりできる
- 問題毎にフィードバックを入力できる

💡 フィードバックを入力できます

💡 問題の編集/再採点を行えます

💡 点数の入力/修正を行えます

「提出物」ページの中央には、「採点」パネルがあります。

テストの「採点」パネルでは、各問題の採点状況を確認したり、採点を行ったりできます。

また、問題ごとにフィードバックを入力したり、問題の編集と再採点を行うこともできます。

3. テストの採点

テストの採点手順（1）

① ナビゲーションバーから「成績表」を選択

② 「概要」タブをクリック

③ 「採点」ボタンをクリック

項目	期限日	最も古いものが未評価
LACSに関する小テスト 1件を採点	2026/06/30 23:59	2026/06/18 12:19

要採点
学生は投稿されるまで自分の成績を確認できません。

投稿する新しい成績がある場合、ここに表示されます。

続いて、テストの採点手順について説明します。

まず、ナビゲーションバーから「成績表」を選択し、「概要」ビューを開きます。

次に、「要採点」欄から、採点したいテストを探し、「採点」ボタンをクリックします。

3. テストの採点

テストの採点手順（2）

④ 「提出物」ページが開く

⑤ 採点する学生を選択

⑥ 採点する答案を選択

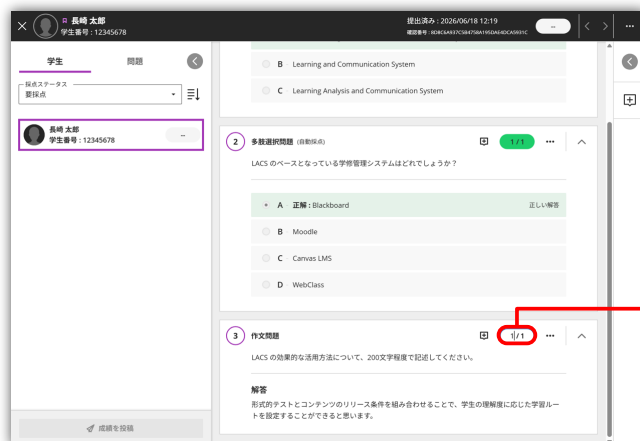
すると、「提出物」ページが開きます。

「提出物」ページが開いたら、まず、左側の「学生」パネルから、採点する学生を選択します。

また、複数の答案を許可している場合は、右上の欄から、採点する答案を選択します。

3. テストの採点

テストの採点手順（3）



⑦ 採点が必要な問題を探す

⑧ 点数欄をクリックし、点数を入力

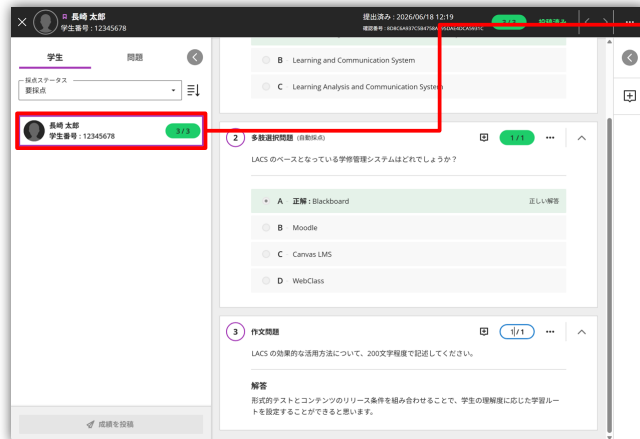
次に、採点が必要な問題を探します。

問題を見つけたら、点数欄をクリックし、点数を入力します。

採点が必要な問題全てについて、採点を行います。

3. テストの採点

テストの採点手順（４）



⑨ 次の学生を選択

⑩ 同様に採点を行う

採点が終わったら、次の学生を選択し、同様に採点を行います。

3. テストの採点 演習

- ① 教員ユーザで学生が提出したテストの答案を確認し、採点を行ってみましょう
- ② 学生ユーザで成績表を確認してみましょう
 - 別なブラウザ、または、Google Chromeのシークレットウィンドウを開き、学生確認用ID(ss+職員番号)でサインインします

Ver. 1.10

LACSオンライン講義会～テスト編～

59

それでは、以上の説明をもとに、テストの採点の演習を行ってみてください。

まず、教員ユーザーで、学生が提出したテストの、答案を確認し、採点を行ってみましょう。

採点は、「成績表」の「概要」ビューから行います。

次に、学生ユーザーで、「成績表」を確認してみましょう。

なお、学生ユーザーで操作する場合は、別なブラウザか、シークレットウィンドウを使用してください。

では、このビデオを一時停止して、演習が終わったら、ビデオを再開してください。

4. テストの管理

- 点数の非表示
- 答案の再採点
- 再提出の許可

続いて、テストの管理について説明します。

点数の非表示について、答案の再採点、再提出の許可という順番で説明していきます。

4. テストの管理

点数の非表示について

- LACSでは、成績表や、各課題およびテストの成績欄を非表示にすることはできない
- 学生に点数を開示したくない場合は、採点スキーマとして「完了/未完了」を選択するか、成績の投稿を行わないようにする
- 総合評価を設定している場合、採点スキーマの設定によっては、成績を類推できる場合があるので注意する

Ver. 1.10

LACSオンライン講習会～テスト編～

61

LACSでは、成績表や、各課題、およびテストの成績欄を、非表示にすることはできません。

学生に点数を開示したくない場合は、採点スキーマとして「完了/未完了」を選択するか、成績の投稿を行わないようにします。

また、総合評価を設定している場合、採点スキーマの設定によっては、学生が成績を類推できてしまう場合があるので注意してください。

4. テストの管理

採点スキーマの変更手順（1）

① ナビゲーションバーから「成績表」を選択

② 「採点可能項目」を選択

③ メニューを開き「編集」を選択

それでは、テストの「採点スキーマ」を変更する方法について説明します。

テストの「採点スキーマ」は、テストの「オプション」で設定します。

まず、「採点スキーマ」を変更したいテストを編集します。
テストの編集は、「コースコンテンツ」ページのテスト欄や、「成績表」の「採点可能項目」ビューなどから行えますが、ここでは、「採点可能項目」ビューから編集する方法で説明します。

ナビゲーションバーから「成績表」を選択し、「採点可能項目」ビューを開きます。

次に、編集したいテストの「オプション」メニューを表示させ、「編集」を選択します。

4. テストの管理

採点スキーマの変更手順（2）



④ 設定ボタンをクリック

新LACS入門
LACSに関する小テスト

コンテンツと設定 提出物 (1) 学生アクティビティ 問題の分析

テストコンテンツ

問題 1

LACS 以下のどれを聞いたものでしょうか？

① Learning Assessment and Communication System

② Learning and Communication System

③ Learning Analysis and Communication System

問題 2

LACS のベースとなっている学習管理システムはどれでしょうか？

① Blackboard

② Moodle

③ Canvas LMS

④ WebClass

問題 3

アセスメントの設定

開閉日

日付

2025/03/08 0:00 (GMT)

成績力デプロイ

テスト

採点

点数 | 最高3点

アセスメントの採点時に成績を自動で投稿します。成績投稿の設定を変更する。

許可された答案回数

1回の答案

独自性レポート

SelfAssessを有効化

説明

LACS に関する小テストです。

テストの編集ページが表示されたら、右上の「設定」ボタンをクリックします。

4. テストの管理

採点スキーマの変更手順（3）

新LACS入門
LACSに関する小テスト

コンテンツと設定 提出物 (1) 学生アクティビティ 問題の分析

テストコンテンツ

問題 1 1点 ...

LACS 以下のどれを聞いたものでしょうか？

A Learning Assessment and Communication System 正しい解答

B Learning and Communication System

C Learning Analysis and Communication System

問題 2 1点 ...

LACS のベースとなっている学習管理システムはどれでしょうか？

A Blackboard 正しい解答

B Moodle

C Canvas LMS

D WebClass

問題 3 1点 ...

形成的ツール

☐ 形成的アセスメント
これは成績の計算から自動的に除外されません。
☐ 形成的ラベルを学生に適用する

採点と提出

成績カテゴリ
テスト

許可された回答回数
1

次による成績
完了/未完了

最高点
3

個別に採点された問題があるアセスメントの最高点は編集できません。

匿名採点
☐ 学生の名前を非表示にする
学生が提出を開始しているため、学生の名前を非表示にできません。

評価オプション
☐ 代理採点

アセスメントの成績
☒ アセスメントの成績を自動的に採格する

キャンセル 保存

⑤ 「採点と提出」欄の「次による成績」を「完了/未完了」に変更

⑥ 「保存」ボタンをクリック

「設定」パネルが表示されたら、「採点と提出」欄の「次による成績」を、「完了、未完了」に変更します。

変更が終わったら、「保存」ボタンをクリックして、パネルを閉じます。

4. テストの管理

答案の再採点

- 一度採点した答案は、「概要」ビューの「要採点」欄には表示されない
- テスト全体を再採点する場合は「採点可能項目」ビューから、特定の学生を再採点する場合は「学生」ビューから答案を表示させる

Ver. 1.10

LACSオンライン講習会～テスト編～

65

続いて、答案の再採点について説明します。

LACSでは、一度採点した答案は、「概要」ビューの、「要採点」欄には表示されません。

一度採点した答案を、再採点するには、テスト全体を再採点する場合は、「採点可能項目」ビューから、特定の学生を再採点する場合は、「学生」ビューから、答案を表示させます。

4. テストの管理 答案の再採点手順（1）

① ナビゲーションバーから「成績表」を選択

② 「学生」を選択

③ 学生を検索することもできます

④ 学生を選択

それでは、答案の再採点手順について説明します。

ここで説明するのは、ある学生の答案を再採点する手順となります。

まず、ナビゲーションバーから「成績表」を選択し、「学生」ビューを開きます。

「学生」ビューが開いたら、答案を再採点したい学生を選択します。

学生を探す際は、検索欄を使用するとよいでしょう。

4. テストの管理

答案の再採点手順（2）



④ 「学生の概要」ページが表示される

⑤ 採点するテストをクリック

学生を選択すると、「学生の概要」ページが表示されます。

「学生の概要」ページには、学生に関する情報がまとめられており、学生のアクティビティを参照したり、学生にメッセージを送ったりすることができます。

「学生の概要」ページが表示されたら、答案を再採点するテストを探してクリックします。

4. テストの管理

答案の再採点手順（3）

⑥ 「提出物」ページが表示される

⑦ 再採点する問題を探す

⑧ 点数を変更

⑨ [×] ボタンで閉じる

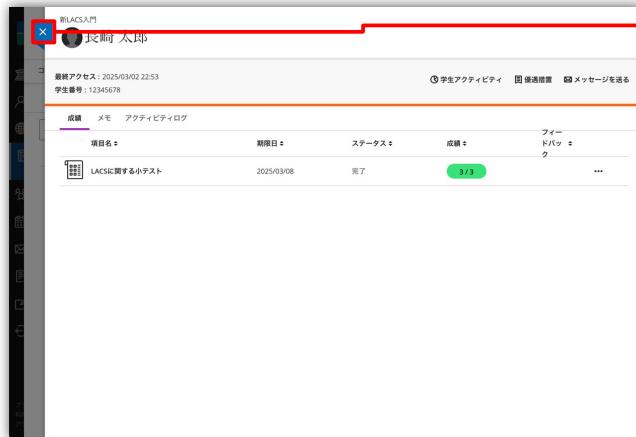
すると、「提出物」ページが開き、学生の答案が表示されます。

再採点する問題を探し、点数を変更してください。

採点が終わったら、左上のバツボタンで、「提出物」ページを閉じます。

4. テストの管理

答案の再採点手順（４）



⑩ [×] ボタンで閉じる

「学生の概要」ページに戻ったら、左上のバツボタンをクリックし、閉じておきます。

4. テストの管理

再提出の許可

- 学生は許可された回数内でしか答案を提出できない
- 学生が許可された数の答案を既に提出している場合、以下の設定のどれかを行う必要がある
 - ① テストの「許可された答案回数」を増やす
 - ② 答案を削除する
 - ③ 例外設定を行う
- ③の例外設定を行うのを推奨

続いて、答案の再提出の許可について説明します。

LACSでは、学生は、許可された回数内でしか、答案を提出できません。

学生が、許可された数の答案を、既に提出している場合、テストの「許可された答案回数」を増やすか、答案を削除するか、例外設定を行う必要があります。

おすすめは、3の「例外設定」です。

以降、例外設定を用いて、学生に、テストの再提出を許可する方法を説明します。

4. テストの管理 例外設定の手順（1）

① ナビゲーションバーから「成績表」を選択

② 「学生」を選択

③ 学生を検索することもできます

④ 学生を選択

それでは、例外設定の手順について説明します。

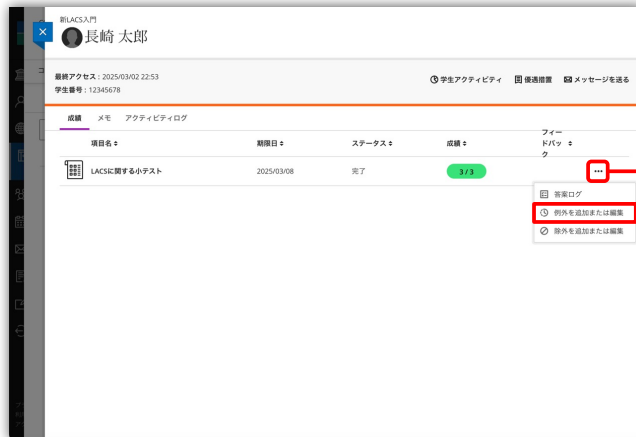
まず、ナビゲーションバーから「成績表」を選択し、「学生」ビューを開きます。

「学生」ビューが開いたら、例外設定を行いたい学生を選択します。

学生を探す際は、検索欄を使用するとよいでしょう。

4. テストの管理

例外設定の手順（2）



④ 例外設定を行いたいテストのメニューを開き「例外を追加または編集」を選択

「学生の概要」ページが開いたら、例外設定を行いたいテストのメニューを開き、メニューから「例外を追加、または編集」を選択します。

4. テストの管理

例外設定の手順（3）

⑤ 「許可された答案回数」を増やす

期限日や表示日も設定できます

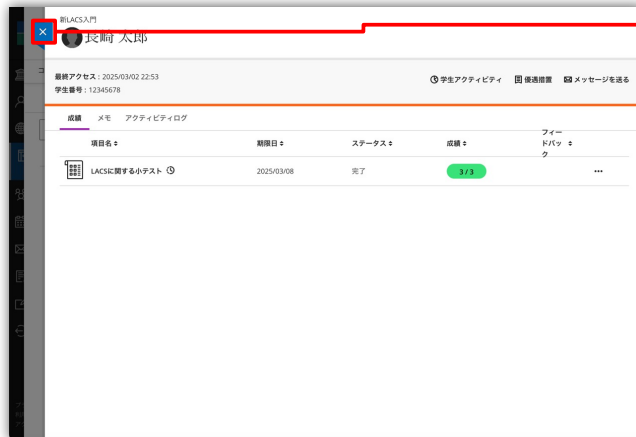
⑥ 「保存」ボタンをクリック

すると、「例外」パネルが開きますので、「許可された答案回数」を増やして、「保存」ボタンをクリックします。

なお、「例外」パネルでは、期限日や表示日も設定できます。

4. テストの管理

例外設定の手順（４）



⑦ [×] をクリックして閉じる

例外設定が終わったら、左上のバツボタンをクリックし、閉じておきます。

5. お問い合わせ先

- LACSの利用方法に関するご質問は、ICT基盤センターへお願いいたします
- ICT基盤センター LACSサポート窓口
 - 電子メールでのお問い合わせ
 - lacs_support@gl.nagasaki-u.ac.jp
 - LACSサポート窓口
 - LACSの「コミュニティ」ページからアクセス

最後に、LACSの問い合わせ先を紹介して、この講座を終わりたいと思います。

LACSの利用方法に関するご質問は、ICT基盤センターの、LACSサポート窓口へお願いいたします。

画面に表示されているメールアドレスまで、電子メールでお問い合わせください。

また、LACSのコミュニティとして、「LACSサポート窓口」を開設しております。

こちらのコミュニティも、是非ご活用ください。

以上で、本講座は終了となります。

何かご質問がある場合には、LACSサポート窓口まで、電子メールでお問い合わせください。

オンラインでの講習、お疲れ様でした。